



▲予算要望を副市長に提出。



▲ポンプ操法の1番員を担当



▲西大路站周辺を美しくする会



▲定例勉強会で政策提言



▲松尾大社での清掃奉仕



▲稲荷祭にも毎年参加



▲松尾大社の青年会で活躍



▲京都マラソンでボランティア

プロフィール

昭和58年12月13日生まれ。同志社大学政策学部卒。
金融ハイテクベンチャー(東証1部)を経て、京都党の結党に参画、政調会長に就任。
平成23年4月、4,073票をいただき初当選。唐橋消防団員。松尾大社大宮社青年会副会長。



中島 拓哉 事務所

〒601-8452
京都市南区唐橋堂ノ前町1
(九条七本松東入ル)

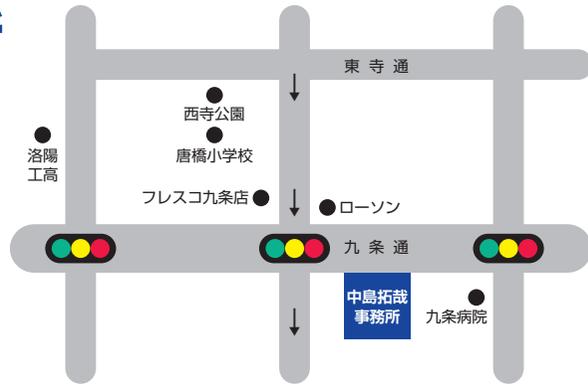
☎ 075-691-5991 📠 075-320-1385

✉ info@nakajimatakuya.com

🌐 http://nakajimatakuya.com

📱 @nakajimata

📘 https://www.facebook.com/nakajima.takuya.kyoto



京都市会議員(地域政党「京都党」)

中島たくや新聞

第14号

海外視察にNO!!



地方自治法 第2条14項

「地方公共団体は、その事務を処理するに当つては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。」

これは自治体経営の原理原則。

議員は市税を最小経費で最大効果が達成できるように取り組むべきです。ところがどっこい。議員の海外視察がまたはじまったのです。観光目的化しているとの住民批判が相次ぎ、凍結していましたが、突如再開。もちろん移動はビジネスクラス。
京都党はこの海外視察に一貫して反対。海外視察のあり方とは??是非、ご覧ください!!

京都党

KYOTO PARTY
地域政党

●京都党とは

2010年8月に結党した京都発のベンチャー政党。国政の風にかれることなく、京都の未来をど真ん中に見据える地域政党。市民与党としてしがらみ政治を一掃中。行財政改革の急先鋒。現在、市議4名。

主要政策は

- ①行財政改革 ②文化首都構想 ③リニアの京都誘致



最高顧問
堀場雅夫(堀場製作所創業者)
顧問
高木壽一(京都市元副市長)
渡邊隆夫(京都府中小企業振興連盟会長)
政策顧問
村田晃嗣(同社大学法学部教授)
風間規男(同志社大学政策学部教授)
溝部英章(京都産業大学法学部教授) 他
京都党メンバー(平均年齢34才)

議員の海外視察に

NO!!



市民の知らないところで
物見遊山の贅沢三昧!?
共産党までが二枚舌のご都合主義。

観光目的化しているとの批判で全国各地の議会で中止となっているのが議員の海外視察だ。「観光目的化」しているとの批判で住民監査請求が続発したからだ。そんな中、市民の知らないところで海外視察をこっそりと続けている議会がある。京都府会だ。

京都府会は年額**1,600万円**を
海外視察の予算に計上しているのだ。



昨年はヨーロッパとアジアの視察として20名もの議員が海外に渡った。驚くべきはその視察先だ。ヨーロッパの視察団はワインの生産地やサッカースタジアムなどを訪問。ワインを飲みながらサッカーを見たかっただけではないのか。ワインの視察で訪れたのはフランスとドイツの国境にあるアルザス。そこはワイン通好みの生産地である。本当に行く価値があるのか甚だ疑問だ。アジアの視察先もカジノを調査するなど疑問だらけだ。



▲アルザスのワイン生産地を訪問



▲ドイツのサッカースタジアムを見学

▼ストラスブールの夜カフェを視察



▼カジノ併設のプールを見学



さらには日本からの移動にはビジネスクラスを利用。
財政状況が厳しい中に、市民無視の暴挙だ。
さらに批判すべきは共産党だ。
京都市会では

「自民、民主、公明のオール与党は、
我々の要求を無視して、海外視察に行く」

と声を大にして批判しておきながら、

府議会の海外視察には自民民主党議員を
団長とした「オール与党」に共産党もこっそり
同行しているのだ。

まさに市民を馬鹿にした二枚舌のご都合主義だ。

もちろん海外の先進事例を学ぶのは必要だ。

しかし、議員ご一行で海外を周遊する必要があるのか。

そもそも海外視察に行くにふさわしい語学力があるのだろうか。

調査報告書を見ても、まるで大学生のレポートのようだ。

海外視察に行くならば、ひとりあたり

年間**648万円**も支給される
政務活動費の中で行くべきだ。

城崎温泉に行くのではなくて。

厳しい財政状況
にもかかわらず
ビジネスクラスでの
海外視察



それを
批判しておきながら
海外視察には
同行する共産党の
二枚舌

海外視察は
政務活動費で
行け!!!

